

令和5年第3回
組合議会定例会議事録

招集日 令和5年8月21日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

令和5年第3回 組合議会定例会議事録

招 集 日 令和5年8月21日（月）

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1 出席議員（10人）

1 番 大 野 祐 司

2 番 澤 井 慧

3 番 松 野 英 夫

4 番 丸 田 絵 美

5 番 宮 本 和 実

6 番 大 倉 あき子

7 番 谷 口 敏 也

8 番 野 村 羊 子

9 番 土 屋 けんいち

10番 大 城 美 幸

2 欠席議員（0人）

3 出席説明員

管 理 者	河 村 孝	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	馬 男 木 賢 一	参 与	伊 藤 栄 敏
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	鷹 林 勝	施 設 課 長	澤 田 忍
施 設 課 長 補 佐	山 賀 則 夫	総 務 主 幹	川 鍋 章 人
総 務 主 幹	田 波 利 明	清 掃 主 幹	仲 雅 広
清 掃 主 幹	三 ツ 木 吉 和	人 事 主 幹	田 中 博 文
文 書 主 幹	富 永 幹 雄	財 務 主 幹	伊 藤 恵 三
契 約 主 幹 検 査 主 幹	池 田 宏 太 郎	会 計 管 理 者 出 納 主 幹	古 園 純 一
監 査 事 務 局 長	荒 川 浩 一		

午前 9 時56分開会

○副議長（土屋けんいち君） おはようございます。議会に先立ちまして、私からお話をさせていただきたいと思います。私は、三鷹市議会選出で副議長の土屋けんいちでございます。

ただいま議長が空席となっておりますので、議長が選出されるまでの間、副議長の私が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、調布市議会選出議員の皆様には、初めてのふじみ衛生組合議会でございます。議会開会前に、議員の自己紹介と関係職員の紹介をお願いいたします。

それでは、三鷹市議会選出の前列 6 番議員からお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

○6 番（大倉あき子君） 皆様、おはようございます。私は公明党の大倉です。どうぞよろしくお願いいたします。

○7 番（谷口敏也君） おはようございます。民主緑風会の谷口と申します。よろしくお願いいたします。

○8 番（野村羊子君） おはようございます。三鷹市議会無所属で、きらりいのちをめざす市民派・無所属・れいわという会派を組んでおります野村羊子です。よろしくお願いいたします。

○10 番（大城美幸君） おはようございます。日本共産党三鷹市議団の大城美幸です。よろしくお願いいたします。

○副議長（土屋けんいち君） 続きまして、調布市議会選出の前列の議員からお願いいたします。

○1 番（大野祐司君） 調布市議会自民・維新の会の会派の大野祐司と申します。よろしくお願いいたします。

○2 番（澤井慧君） おはようございます。同じく調布市議会自民・維新の会の澤井慧です。どうぞよろしくお願いいたします。

○3 番（松野英夫君） おはようございます。調布市議会議員、公明党の松野英夫と申します。よろしくお願いいたします。

○4 番（丸田絵美君） おはようございます。調布市議会チャレンジ調布、丸田と申します。よろしくお願いいたします。

○5 番（宮本和実君） おはようございます。チャレンジ調布の宮本です。よろしくお

願います。

○副議長（土屋けんいち君） 次に、特別職職員の紹介を管理者からお願いいたします。

○管理者（河村孝君） 皆さん、おはようございます。ふじみ衛生組合特別職職員の紹介をさせていただきます。

まず、私は管理者を務めさせていただいております、三鷹市長の河村孝でございます。よろしく願います。

副管理者は、長友貴樹調布市長にお願いしております。よろしく願います。

○副管理者（長友貴樹君） よろしく願います。

○管理者（河村孝君） 次に、参与でございます。馬男木賢一三鷹市副市長でございます。

○参与（馬男木賢一君） よろしく願います。

○管理者（河村孝君） 続いて、同じく参与の伊藤栄敏調布市副市長でございます。

○参与（伊藤栄敏君） よろしく願います。

○管理者（河村孝君） 次に、識見を有する者の監査委員といたしまして、三鷹市の監査委員であります河並祐幸さんでございますが、本日はあいにく出席しておりませんので、またいずれかの機会にご紹介させていただきたいと思っております。

また、監査委員の定数は2名でございますが、議会選出監査委員が1名欠員となっておりますので、後ほど議案として提出させていただきたいと考えております。どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。よろしく願います。

○副議長（土屋けんいち君） ありがとうございます。

次に、一般職職員の紹介を事務局長からお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。ふじみ衛生組合事務局長の荻原でございます。よろしく願います。

私からは、組合兼職職員並びに組合職員を紹介させていただきます。

初めに、兼職職員を紹介させていただきます。

総務主幹の川鍋章人三鷹市生活環境部長でございます。

○総務主幹（川鍋章人君） 川鍋でございます。よろしく願います。

○事務局長（荻原正樹君） 同じく総務主幹の田波利明調布市環境部長でございます。

○総務主幹（田波利明君） 田波でございます。どうぞよろしく願います。

- 事務局長（荻原正樹君） 清掃主幹の仲雅広三鷹市ごみ対策課長でございます。
- 清掃主幹（仲雅広君） 仲でございます。どうぞよろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 同じく清掃主幹の三ツ木吉和調布市ごみ対策課長でございます。
- 清掃主幹（三ツ木吉和君） 三ツ木でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 人事主幹の田中博文三鷹市総務部調整担当部長兼職員課長でございます。
- 人事主幹（田中博文君） 田中でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 文書主幹の富永幹雄三鷹市政策法務課長でございます。
- 文書主幹（富永幹雄君） 富永でございます。どうぞよろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 財務主幹の伊藤恵三三鷹市企画部調整担当部長兼財政課長でございます。
- 財務主幹（伊藤恵三君） 伊藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 契約・検査主幹の池田宏太郎三鷹市契約管理課長でございます。
- 契約・検査主幹（池田宏太郎君） 池田でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 会計管理者・出納主幹の古園純一三鷹市会計管理者でございます。
- 会計管理者・出納主幹（古園純一君） 古園です。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 監査事務局長の荒川浩一三鷹市監査事務局長でございます。
- 監査事務局長（荒川浩一君） 荒川でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 続きまして、組合職員をご紹介します。
事務局次長の上野洋樹でございます。
- 事務局次長（上野洋樹君） 上野でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 総務課長の鷹林勝でございます。
- 総務課長（鷹林勝君） 鷹林でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 施設課長の澤田忍でございます。
- 施設課長（澤田忍君） 澤田でございます。よろしく願いいたします。
- 事務局長（荻原正樹君） 施設課長補佐の山賀則夫でございます。
- 施設課長補佐（山賀則夫君） 山賀でございます。よろしく願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、その他の職員につきましては、お手元に配付させていただいておりますふじみ衛生組合名簿をご覧いただきたいと存じます。

以上でございます。

○副議長（土屋けんいち君） 以上で議員及び職員の紹介を終わります。

これより令和5年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 議席の指定

○副議長（土屋けんいち君） 日程第1、議席の指定を行います。

本会議は、調布市議会選出議員におかれましては、初めての組合議会でございますので、1番議席から5番議席までの指定をいたしたいと思ひます。

ただいまご着席のとおり指定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認め、議席はただいまご着席のと通りの指定といたします。

1番、大野祐司議員、2番、澤井慧議員、3番、松野英夫議員、4番、丸田絵美議員、5番、宮本和実議員といたします。

日程第2 会期の決定

○副議長（土屋けんいち君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第3 会議録署名議員の指名

○副議長（土屋けんいち君） 続きまして、日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、4番丸田絵美議員及び6番大倉あき子議員を指名いたします。

日程第4 議長選挙

○副議長（土屋けんいち君） 日程第4、議長選挙を行います。

議長は、従来、調布市議会選出議員の中から選挙しておりますので、今回もそのようにいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認め、議長は調布市議会選出議員の中から選挙することに決定いたしました。

選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定に基づく指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることと決しました。

ここで暫時休憩いたします。

なお、調布市議会選出の議員の方々は、第1会議室へお集まりください。

午前10時6分 休憩

午前10時7分 再開

○副議長（土屋けんいち君） 会議を再開いたします。

お諮りいたします。候補者を副議長において指名することにいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認め、副議長において指名することに決しました。

ふじみ衛生組合議会議長に大野祐司議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま副議長において指名いたしました大野祐司議員をふじみ衛生組合議会議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（土屋けんいち君） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしま

した大野祐司議員がふじみ衛生組合議会の議長に当選されました。

議長に当選されました大野祐司議員が議場におられますので、会議規則第32条の規定により、その旨を告知いたします。

それでは、ここで議長に当選されました大野祐司議員にご挨拶をお願いいたしまして、議長を交代いたします。

ご協力、ありがとうございました。

それでは、よろしく申し上げます。

○議長（大野祐司君） 皆様、おはようございます。ただいま副議長の土屋けんいち議員からご指名をいただきまして、議員の皆様方のご同意をいただき、議長という大役を仰せつかりました大野祐司でございます。

ふじみ衛生組合は、可燃ごみ処理施設のクリーンプラザふじみ及び資源化施設のリサイクルセンターを運営し、三鷹市・調布市両市のごみ・資源物を適正に処理するという大きな役割を担っています。運営に当たっては、環境に徹底的に配慮するとともに、安全・安心に両施設を稼働させることが何よりも重要なことだと認識しております。

皆様のご協力をいただきながら、円滑な議事運営に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

着席させていただきます。

会議を続けます。

日程第5 管理者報告

○議長（大野祐司君） 日程第5、管理者報告に入ります。

それでは、河村管理者、お願いいたします。

○管理者（河村孝君） 皆さん、おはようございます。議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控えまして、何かとお忙しい時期ではございますが、ご出席いただきまして、恐縮に存じております。

それでは、早速、管理者報告に入らせていただきます。

本日ご報告申し上げる事項は5件でございます。

ご報告の第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入いたしましてご報告させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

初めに、資料1をご覧ください。クリーンプラザふじみの令和5年4月から6月までの処理実績でございます。

この3か月間の総搬入量は1万8,948トンでございます。前年度と比較いたしますと、468トン、2.4%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が7,328トンで構成比44.4%、前年度比149トン、2.0%の減、調布市が9,177トンで構成比55.6%、前年度比154トン、1.6%の減となっております。

また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては1,660トンで、前年度比110トン、6.2%の減となっております。

そのほか、広域支援に伴いまして、小平市のごみを783トン受け入れております。

次に、資料2をご覧ください。リサイクルセンターの令和5年4月から6月までの処理実績でございます。

この3か月間の総搬入量は4,348トンでございます。前年度と比較いたしますと、98トン、2.2%の減となっております。その内訳といたしまして、三鷹市が2,146トンで、構成比49.4%、前年度比63トン、2.9%の減、調布市が2,202トン、構成比50.6%、前年度比35トン、1.6%の減となっております。

ご報告の2件目は、視察・見学の状況についてでございます。資料4をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和5年4月から6月までの3か月間の視察・見学者数でございます。この3か月間の見学者数は、27団体、2,242人ございました。一般の団体見学が入り始めるとともに、小学校の社会科見学につきましては、昨年度のオンラインで実施した2校が本年度は来場いたしましたので、令和4年度と比較いたしますと、団体数、人数とも大幅な増となっております。

また、表の欄外にございますとおり、6月10日に煙突登り見学会を開催し、26人の皆様にご参加いただきました。今後とも、新型コロナウイルス感染症に最大限の注意を払いながら、両市の児童生徒及び市民の皆様に向けた環境学習・啓発活動に取り組んでまいります。

ご報告の第3件目は、地元協議会等についてでございます。

地元協議会につきましては、6月1日に第77回、7月26日に第78回の地元協議会を開催いたしました。ごみ処理実績や環境測定結果を報告するとともに、リサイクルセンター整備実施計画（案）についてご意見を伺ったところでございます。また、6月16日に施設見学会を実施し、ふじみ衛生組合のペットボトルをリサイクルしている遠東石塚グリーンペ

ット株式会社を見学いたしました。

なお、次回の会議は11月9日に開催を予定しております。

安全衛生専門委員会につきましては、6月27日に第25回の安全衛生専門委員会を開催いたしました。

委員任期の満了に伴いまして、委員の皆様にご依頼状を交付させていただき、専門的な見地から引き続きご指導等をお願いいたしました。

会議では、正副委員長の互選の後、ごみ処理実績等の報告をいたしました。

なお、原則、年1回の開催であるため、次回の会議は来年度となる見込みでございます。

ご報告の第4件目は、ふじみまつりについてでございます。

11回目を迎えますふじみまつりにつきましては、来る11月19日日曜日午前10時から開催する予定でございます。地元協議会委員をはじめとする有志の皆様及びふじみ衛生組合職員による実行委員会を組織いたしまして、検討を進めるところでございます。当日は、三鷹市・調布市をはじめとして、近隣大学や関連事業者のご協力の下、企画、運営に当たることとしております。

本年は、飲食も再開する予定ございまして、多くの皆様の来場が想定されます。無事故で楽しんでいただけますように、万全の準備を整えてまいります。

組合議員の皆様におかれましてもご来場をお待ちしております。

ご報告の第5件目は、リサイクルセンターの更新についてでございます。資料5-1をご覧ください。

リサイクルセンター整備実施計画（案）に対するパブリックコメントを令和5年6月6日から7月5日まで実施いたしました。いただきましたご意見は、3人から9件ございました。

また、パブリックコメントに併せまして、6月9日と17日に市民説明会を開催いたしました。来場者は、6月9日が7人、17日が4人で、いただいたご意見、ご質問は、計15件ございました。

いただきました貴重なご意見は、要求水準書の作成など、今後の施設整備の検討に当たり参考にさせていただきたいと考えております。

続きまして、資料5-2、リサイクルセンター整備実施計画（最終案）でございます。内容につきましては、令和5年第2回定例会でご報告させていただきましたリサイクルセンター整備実施計画（案）から大きな変更はございませんので、後ほどご覧いただければ

と存じます。

続きまして、令和5年度のリサイクルセンター更新に係るスケジュールでございます。
資料5-3をご覧ください。

令和5年度につきましては、ただいまご報告いたしました施設整備実施計画を9月までに策定するとともに、新しいリサイクルセンターの整備等を担う事業者を選定するため、令和6年1月に入札公告をする予定でございます。

これらと並行いたしまして、生活環境影響調査を引き続き実施するとともに、東棟・北棟改造のための仮設電源用電気工事及び中央棟解体工事のための設計を実施いたします。

私からの報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績及びリサイクルセンターの更新につきまして、事務局長より補足説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。私からは、管理者報告につきまして、2件の補足をさせていただきます。

第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

管理者からの報告と同様、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告をさせていただきます。

資料1をご覧ください。クリーンプラザふじみの令和5年4月から6月までの3か月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で2.4%の減となりました。内訳を見てもみますと、三鷹市の粗大ごみを除き、ごみ量は減少しています。

なお、この3か月間で1万4,978トン焼却処理いたしまして、熱回収による発電では、電力事業者に4,813メガワットアワーを9,600万円余で売却いたしました。また、処理に伴う焼却灰等1,664トンにつきまして、エコセメント化施設等に搬出いたしました。

続きまして、資料2をご覧ください。リサイクルセンターの令和5年4月から6月までの3か月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で2.2%の減となりました。

次に、搬出実績でございます。搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げますが、調布市議会選出議員の皆様には、初めてのふじみ衛生組合議会でございますので、用語の説明をさせていただきます。

初めに、有償・無償でございます。有償とは、売却することによってふじみ衛生組合に収入が入るものでございまして、金属類が該当いたします。無償とは、売却はできないものの、処理費用を支払わなくて済むものでございまして、ペットボトル、プラスチック、ガラス瓶などが該当いたします。

次に、品目でございます。

1 番の特アルミ、これはアルミ缶でございます。

2 番のアルミ、これは不燃ごみから出たアルミでございます。

3 番の特A鉄、これはスチール缶でございます。

4 番のA鉄、これは不燃ごみから出た鉄でございます。

5 番のB鉄、これは粗大ごみから出た鉄でございます。

11番から15番の「容リ」という言葉でございますが、これは容器包装リサイクルの略でございます。容器包装リサイクル法に基づき、容器包装リサイクル協会ルートでリサイクルを行っているものでございます。

なお、容リ・ガラスとは、瓶のことでございまして、容器包装リサイクル法では、無色透明、茶色、その他の色の3色に分けることとなっております。

それでは、改めまして、搬出実績につきまして、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年度と比べ、87トン、3.7%の減となっております。この主な要因は、瓶の搬入量の減に伴い、13番の容リ・ガラス（その他）が24トンの減となったことなどによるものでございます。

続きまして、右側の逆有償の資源物等搬出の欄をご覧ください。逆有償とは、ふじみ衛生組合が処理費用を支払って処理をお願いしているものでございます。水銀を含む有害廃棄物、廃消火器などの処理困難物及び小型家電につきましては、逆有償での処分となっております。

その下、残渣搬出でございますが、プラスチック類を含む可燃性残渣1,660トンにつきましては、クリーンプラザふじみにおいて全て焼却処理し、熱回収いたしました。

続きまして、資料3をご覧ください。有価物品等の価格の推移でございます。令和5年第2回定例会後の状況につきましてご説明申し上げます。

7月1日以降の資源物売却に係る単価の競争入札を6月15日に実施いたしました。その結果、鉄類につきましては、3番の特A鉄及び4番のA鉄が3,800円、6.8%の下落となりました。また、アルミ類につきましては、6番の特アルミ及び7番のアルミが各10円の上

昇となりました。

金属資源市場は、引き続き、高値圏で横ばいの状況が続いています。今後とも市況を見ながら、適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

第2件目は、リサイクルセンターの更新についてでございます。事業者選定の補足説明をさせていただきます。資料5-4をご覧ください。

事業者選定につきましては、事業方式及び事業者選定審議会での意見を踏まえまして、現在、新施設の整備・運営事業の概要を公表し、民間事業者の意向を確認しているところでございます。これを実施方針の公表といたします。

実施方針公表後、民間事業者の参入意欲が確認できれば、事業を実施することが適切であると判断したことを表明する、特定事業の選定の公表を行います。その後、事業実施に伴う予算を確保するため、補正予算で債務負担行為を設定いたします。早ければ、次回、令和5年第4回の定例会で、補正予算を議案として提出させていただく予定でございます。

その後、入札公告を行い、約半年かけまして提案書等の審査を行い、落札者を決定する予定でございます。

しかしながら、容器包装リサイクル法が施行され約30年が経過し、全国のリサイクルセンターが一斉に建て替えに動いており、売手市場のため、建設費が高騰するとともに、民間事業者が入札に参加せず、入札が不調に終わる事例も見受けられます。

ふじみ衛生組合では、このような全国の動向を注視しながら、慎重に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

私からのご報告は以上でございます。

○議長（大野祐司君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

野村議員。

○8番（野村羊子君） それでは、幾つか質問させていただきます。

ごみ処理実績等については、引き続きのマイナスですが、これは全体傾向として、昨年、一昨年、その前のコロナ禍での上昇から引き続き減少しているものと原因を考えていいのか、それ以外の原因があるのか、どう捉えているのかを確認したいと思います。

それと、有償の資源物の件に関しては、高値であるのはありがたいと思いますが、実際にこれはそれなりの金額で売却したとしても、こちらでかけている処理費用からすると、これは何割程度を補っていると言えるのかというのは、これは本当は決算のところの話か

もしもかもしれませんが、ちょっとその辺の傾向的にどの程度の感じなのかというのがもし分かれば、答えていただきたいと思います。

取りあえず、項目ごとに質問してもいいでしょうか。これと、この後、次のリサイクルセンターの更新についてはちょっと分けて質問したいんですが、よろしいでしょうか。

○議長（大野祐司君） 分かりました。

今の2点について、萩原局長。

○事務局長（萩原正樹君） まず、1点目のごみ量が減少傾向にあるという点でございますけれども、これは、コロナ禍が一段落いたしまして、皆さんがご自宅にいる時間が少なくなったという傾向もございましてごみが減っている状況でございまして、ようやくコロナ前の水準に戻ったという状況でございます。

また、2点目の有価物の売却益と処理費用の関係でございまして、有価物の売却益は大体年1億円ぐらいでございます。一方、リサイクルセンターの運営につきましては年6億円程度かかっておりますので、6分の1程度を有価物の売却益で賄っているということになります。

以上でございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。大体様子が分かって、大分ごみの有償あるいは逆有償についても、全体の状況、社会的な推移の中で変動していったら、あまりこちらでどうこうできることは少ないんでしょうけれども、できるだけ高値で売れていくといいなと思います。

では、次にリサイクルセンターの整備実施計画のほうに行きたいと思います。

たくさんパブリックコメントがあって、いろいろ、ふじみとしての考え方、回答というものが示されています。それで幾つか確認したいんですけども、一つは、新リサイクルセンターに当たって、調布市は調布市さんでリサイクルしている部分があって、その辺の絡みで、そもそもこのリサイクルセンター建て替えのときに、調布市さんの分も一緒にしたものにするとかしないとかという議論があったのか、なかったのか、その辺の議論。それに絡んで二枚橋の話とか、市民の皆さんからご意見が出ていると思うので、その辺をきちんと説明しておく必要があるのではないかなと思うんですが、それについてまず確認をします。

それから、ごみピットのサイズによって、地下水の影響というものが懸念されていると

思います。それはまだ分かりませんということではいけないんですけれども、環境影響評価的ところで、この地下水の流動に関して、影響がどのくらいだったら何とか影響しないで済むとか、そういうことをやっているのかやっていないのかは、これから提案を受けるしかないという回答ですけれども、それでは市民の方の安心につながらないのではないかなと思うんですが、どう考えるのか。

もう1点、PFAS含有の消火剤ではないですよというご意見がありました。今非常に話題、課題になっていて、これ自体はたしかもう10年以上前に使用しないような話になっていたと思いますが、そのことがきっちり考え方のところで指摘されていないので、環境に優しく消火しやすいものということだけでは、このご意見の方のご不安に直接回答していないのではないかなと思うんですが、その辺はどのようにになっているのかということ。

それから、できるだけ焼却しないでほしい、工事期間中も焼却しないほうが良いという話が幾つかあったと思います。それで、プラスチックに関しては、以前、多分その整備計画の中でも、どこかに搬出することによる費用増大があまりにも大きいから、それは難しいだろうという話と、ペットボトルも、最初は全量焼却だったのを何とか20%程度はリサイクルできるようにしたいという話が過去にあったと思いますが、三鷹市・調布市で新たにペットボトルを置く場所が見つかり、活用することができればということが書いてあります。これは、実際にはどれくらいの広さ、面積が必要で、あるいはかかる費用——置く場所というのは、単に野積みするわけではないでしょうから、それについて設置する費用とか、あるいはそこから運ぶ運搬の費用とか、それはどちらが負担するかということ的前提にこれを考えているのかというのは、そこはちょっと今まで聞いたことがないと思うので、確認したいと思います。

取りあえず、それだけお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 萩原事務局長。

○事務局長（萩原正樹君） まず1点目の、調布市の一部の品目がこちらのリサイクルセンターには入ってきていないというお話でございますけれども、以前より、調布市の瓶・缶につきましては独自処理を行ってございまして、今回、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターの更新に先立ちまして調布市のクリーンセンターの建て替えがございましたので、そちらのほうで瓶・缶の処理をするということが決まりました。したがって、今回のリサイクルセンターの更新に当たりましては、調布市の瓶・缶については処理対象品目として含めていないということでございます。

2点目でございます。ごみピットのお話でございますが、容量につきましては、確かに事業者のご提案を待ちたいと思っておりますが、深さにつきましては、ふじみ衛生組合としても一定の考え方を持っております。それは、地下9メートルぐらいのところに地下水脈がございますので、できるだけこの地下水脈に触らないということで、具体的には、ピット部を除いては、地下7メートル程度に収めたいと考えているところでございます。

3点目でございます。PFASの関係でございます。消火剤につきまして、考え方が明確になっていないということでございますが、これにつきましては、今後、要求水準書というものを作りますので、その要求水準書の中で明確にしていきたいと考えているところでございます。

4点目でございます。ペットボトルのリサイクルでございますが、基本的には、三鷹市・調布市独自の施策、取組と捉えているところでございます。したがって、ご相談があれば、アドバイスや協力をさせていただきたいと思っております。

なお、保管スペースについてでございますけれども、三鷹市のペットボトルの年間収集量は約760トン、調布市のペットボトルの年間収集量は約1,000トンでございますので、1日当たりにいたしますと、三鷹市が約2トン、調布市が約3トンとなります。この量を全量リサイクルするのであれば、今申し上げましたとおりのスペースが必要となりますが、半分程度リサイクルするということであれば、半分のスペースで済むことになります。また、今申し上げましたのは1日1回引取りに来てもらうことを前提とした計算でございますので、1日に2回引取りに来てもらえば、スペースはさらに半分で済むことになります。したがって、具体的な費用等については、今現在は算出は難しいと考えております。

なお、ペットボトル1トンは、容量でいいますと、大体10トントラック1台分と考えていただければと存じます。

以上でございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 再質問させていただきます。調布市さんのリサイクルセンターについての考え方は、調布市さん独自の施策として決められているので、ふじみとしてどうこうということではなく、調布市さんが先にそれをお決めになったので、残っている部分というか、今までと同じようなところで、このリサイクルセンターの稼働内容、処理内容というのを考えるということでもいいということですね。調布市さんの施策、考え方というのが優先されているということですね。

同じように、この工事期間中のペットボトルの置場についても、三鷹市・調布市の考え方ということですが、その保管スペースの実際の面積、2トンであれば10トントラック2台分、あるいは合計5トンをやるのであれば5台分が必要だということになります。実際の面積というのは最低どれくらい必要と考えているのかというのは、今トンで示されましたけれども、面積では示されていないので、もう一回それを試算していれば教えてください。

また、ごみピットに対しても、今、建物全体は地下水脈に当たらないようにと言われましたけれども、ここで言われているのは、ごみピットがどうなるのかということ聞かれていますと思うんです。それについては、制限なしで提案を待つということなのかということを確認したいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、ペットボトルの保管場所のことですが、面積につきましては、どのような形で保管するのかということで随分違います。例えば、10トンのアームロール車のコンテナを置いておいて、その中にペットボトルを入れるということであれば、コンテナのサイズで済みまし、別の方法によるとなれば、また別の方法になりますので、一概に面積がどれくらいあれば十分だとか不十分だという話にはならないと考えております。

2点目、ピットのことですが、深さ方向につきましては、ピットはどうしても容量的に深く掘らざるを得ないと思っております。例えばクリーンプラザふじみ焼却施設のほうは約20メートル、ピットの部分については掘っておりますので、同じような容量を確保するとなれば、リサイクルセンターのほうも同様に20メートル程度掘るようになるのではないかと想定しているところでございます。

○8番（野村羊子君） 分かりました。いいです。

○事務局長（荻原正樹君） ほかに質疑はございませんか。

大倉議員。

○6番（大倉あき子君） 三鷹市の大倉です。よろしくお願いたします。資料5-1の市民説明会とパブリックコメントなんですけれども、この参加人数は非常に少ないという印象を受けたのですけれども、この調布市と三鷹市の方の割合を教えてくださいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） ほぼ半々でございます。

○議長（大野祐司君） 大倉議員。

○6番（大倉あき子君） 分かりました。

周知方法が、広報みたか、市報ちょうふ、またホームページということで掲載されてお
りまして、リサイクルの実施計画の閲覧場所としてはまた指定があるのですけれども、こ
の実施計画がホームページに公表されているということではなく、閲覧しに行かなければい
けないという形だったのでしょうか、これを知るには。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 実施計画案につきましては、ホームページにも掲載させて
いただいていますし、ホームページ以外ということで、ふじみ衛生組合、三鷹市環境ごみ
対策課、調布市環境部ごみ対策課にも冊子として置かせていただいております。これは、
パソコンがないとか、パソコンがあってもインターネットが見られないという環境の方に
配慮するために、市の関係窓口に置かせていただいたものでございます。

○議長（大野祐司君） 大倉議員。

○6番（大倉あき子君） 分かりました。

これはなかなか、このリサイクルセンターを建て替えるということ自体を知らない市
民も非常に多いなという印象を受けております。ホームページとか広報に載っていても、
なかなかそこをキャッチできない市民の方もいると思うんですけれども、ツイッターとか、
そういったものもなかなか目にしていない方もいらっしゃると思うんですけれども、これ
からの拡散方法ということではSNSが非常に有効であると思いますので、そこもぜひ含
めていただけたらと思います。

それと、あともう1つ質問なんですけれども、リサイクルセンターの整備実施計画の9
ページの両市のごみ量の予測ということなんですけれども、この人口というのはどの時点
での人口か、また将来推計を見据えた上での人口ということでこの施設の規模を考えてい
るのか、その辺の考え方を教えていただきたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 施設規模の算定に当たりましては、施設稼働後7年間のう
ち最大となる量ということが決まっております。ですので、今回も、令和10年度に稼働の
予定でございますので、令和10年度から令和16年度まで推計をいたしまして、そこのピー
クを採用しているというところでございます。

○議長（大野祐司君） 大倉議員。

○6番（大倉あき子君） 分かりました。そのピークとなるのは、人口が増えていくという予測なのか、人口が減っていくという予測なのか、そのところをお伺いしたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 三鷹市・調布市とも、人口は増えていますが、市民の皆様がごみの減量に非常に熱心だということがございまして、ここ数年横ばい状態が続いておりますので、将来推計についても、ほぼ横ばいで推移するのではないかと推計しているところでございます。

○議長（大野祐司君） 大倉議員。

○6番（大倉あき子君） ありがとうございます。

では、最後の質問なんですけれども、11ページの災害対策ということで、この災害対策は、災害発生時には、災害廃棄物を建物内に保管できる施設ということと、また一時避難場所として活用できるということで、この2つが共に実施できるのかなと、その辺の考え方を教えていただきたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、災害廃棄物を建物内に保管できるということで、東日本大震災のように何十年分の瓦礫が出た場合にはちょっと難しいですけれども、2年前の台風15号で多摩川の付近の皆さんが水害に遭ってしまったという程度のものは、ふじみ衛生組合でしっかり受け入れたいと思っているところでございます。

一方、一時避難場所としてというところでございますが、限られたスペースの中で一時避難場所を設けるのはなかなか難しいということから、例えば、見学者の通路を広いものにして、通常は見学に使うのだけれども、災害時にはそこに避難していただくとか、また隣にもありますような研修ホールといったものも災害時には活用していきたいと考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 何点か質問させていただきますが、1点ずつ質問させていただきます。

まず、何度も質問して申し訳ないんですけれども、小学校の受入れ、今回ようやくコロ

ナが5類になって進められていると思うんですけれども、今現在は18校ということですが、三鷹市が15校で、調布市が20校、35校だと思いますけれども、今後の受入状況等をお伺いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今、議員さんにおっしゃっていただいたとおり、三鷹市15校、調布市20校、合計35校の公立小学校がございますが、35校全ての小学校が見学に来る予定になっております。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ありがとうございます。安心しました。ぜひ子供たちには見ていただきたい施設なので、積極的な広報ではないですけれども、お願いしたいと思います。

それと、重要なのはリサイクルセンターの整備実施計画なんですけれども、私自身が、このリサイクルセンターの建て替えということで一番大きな課題というのは、目的もそうですけれども、プラスチックの件だと思うんです。ただ、目的のところを読むと、それがあまり重視されていないというか、大きな段落の3つ目のところで「令和4年4月にプラスチック」云々で「製品プラスチックも資源化の対象となりました」と書かれているんですけれども、その建て替えの目的自体が、老朽化はそうなんですけれども、老朽化と、あと作業の動線ということで、法律に基づいたプラスチックの処理をするためには、規模的な問題ということが一番大きいのかなと思うんです。ただ、次の3ページのほうには、一個一個、ア、イ、ウ、エと書いてあって、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行以降も製品プラスチックを焼却処理しているなら大きな問題ですし、クなどは今持ち込めないのが、粗大ごみを持ち込める、これは市民の利便性向上ということにつながるんで、その辺をもうちょっと前面に打ち出したほうがいいんじゃないかなと思うんですけれども、これが決定なんでしょうけれども、今後それぞれの市の広報等で広報する場合にはその辺も留意していただきたいなと思うんですが、どうお考えなのか、お伺いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今後、広報等を通じて、リサイクルセンターの更新につきましては丁寧な広報を行っていきたいということで、今議員さんがご指摘いただきました内容も含めまして、広報していきたいと思っております。

なお、プラスチックの関係でございますが、8ページの処理品目を見ていただくと明

確に書いてございます。3行目でございますが、「なお、プラスチックについては、これまで容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、容器包装プラスチックのみを資源化の対象としてきましたが、令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、製品プラスチックも資源化の対象となりました。当組合においては、プラスチックのリサイクルをさらに推進するため、製品プラスチックについても処理対象品目とします」ということで、施設規模につきましても、製品プラスチックをリサイクルするという施設規模となっております。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ありがとうございます。広報ではそんなに紙面のスペースが取れないと思うので、そこを重点的にやったほうが市民の理解は得られるのではないかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

それとあと地下水は、先ほど野村議員からも指摘がありましたが、このアンケートの結果を見ると、先ほど局長からも説明がありましたけれども、ここのピットはもう既に18から20を掘っているというのであれば、水脈というのは西から東ではないですか。そうすると、もうここで取っているから、そっち側はあまりもう関係ないような気がするんですけども、そうではないのかどうか、確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 水脈でございますが、ふじみ衛生組合では、北西の方向から南東の方向へ斜めに流れております。ですので、既にクリーンプラザふじみで掘っていますので、もし影響が出ているとすれば既に出ているのかなとは思いますが、一般的に水脈というのは、もしピットを掘った場合にはその周りを回り込むと言われておりますので、影響はかなり少ないのではないかと思います。工事期間の前・後を通じまして水位等の測定を行いまして、実際に水脈に影響を与えていないかどうか、その辺については確認させていただきたいと思っております。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ありがとうございます。現状、ここのクリーンプラザふじみでピットを掘る前と掘った後の説明と、併せてリサイクルセンターを掘った場合というのを丁寧に説明していただきたいなと思います。

あと、最初の説明を聞いて一番重要だなと思ったのは、そのスケジュール感なんですけれども、局長の話だと、売手市場で、事業者についても不調に終わるところが出てい

るという話を聞くと、予算的にはどんどん膨れていくのではないか。かといって、数年遅らせたからといって安くなるということでもないということを考えると、より慎重にというお話でしたが、一定の時期にはもう決断しなければいけないと思うんです、ある程度高かったとしても。その辺はどうお考えなのか、市長にお伺いしたいと思います。

○議長（大野祐司君） 河村管理者。

○管理者（河村孝君） 現状では、ご心配のように、ウクライナの関係もありますし、それから中国の不動産不況みたいなことが、かなり深刻な状況を招くのではないかとされています。ただ、状況として、それが日本の経済にどのくらい影響して、今後深刻になっていくかということについては、まだどなたも見通せない状況でありますので、今まで報告してきました上限と下限の入札の方針みたいものがございませぬけれども、それに沿って考えていくのがまず第一だと思っておりますが、それ以上になった場合には、それはもう、また議会の皆様にもお諮りしなければいけないですし、正副管理者でも慎重にご議論させていただいて、再度、方針を見直していきたいと思っております。

○7番（谷口敏也君） 終わります。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませぬか。

丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ありがとうございます。すみません。私たちも、この議会が、私も久しぶりでございまして、初めての議員もいますので、ちょっと簡単な質問で申し訳ないんですけれども、させていただきたいなと思っております。

まず1つ目が、ごみ処理の実績のことなんですけれども、資料2を見ますと、ペットボトルは、三鷹市がこれだけ、調布市がこれだけ搬入があります。搬出の実績はゼロなんです。ゼロ、ゼロ、ゼロ。圧縮して熱回収をしましたみたいな答弁はさっきありましたけれども、もう一つの資料3を見ますと、容リ・ペットボトル、これが、4月から6月というこの報告でございませぬので、見ると、多分、4月1日現在、上段の搬出先に無償で搬出していると書いてあるんですけれども、ここの見方がちょっと分からないなというのがまず1点目です。

同様に、その下に、8番、9番に銅と真鍮があります。令和4年から令和5年にかけては、令和4年では微妙にあるんですけれども、令和5年はゼロ。ここに「皆減」と2つ書いてあるので、この皆減の考え方についてお伺いしたいと思います。

取りあえず1点目、これでお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、1点目のペットボトルについてでございます。1の搬入実績につきましては、ペットボトルについては、三鷹市・調布市を合わせまして413トン搬入されております。続きまして、搬出実績でございますが、6番、7番のペットボトルはゼロなんです、その下でございます15番の容リ・ペットボトル、ここに351トンという数字がございまして、現在、ペットボトルについては、独自に売却することなく、全て容器包装リサイクル法に基づきまして指定法人に引渡しを行っているために、このような数字となっております。したがって、資料3のペットボトルの売却のところには数字が入っていないという状況でございます。

続きまして、2点目でございます。8番の銅、9番の真鍮がゼロで、皆減になっているという点でございますが、銅と真鍮につきましては、非常に量が少ないということで、ある程度まとまると、その時点で入札をかけた上で売却しております。したがって、令和5年4月から6月につきましては、まだ一定量がたまっておりませんので、搬出はしておりませんという意味でございます。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ご説明ありがとうございます。

続きまして、処理についてもう1点お伺いしたいと思います。先ほど谷口議員からもありましたけれども、プラスチックについてなんですけれども、資料5-2の8ページを見ますと、「令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、製品プラスチック」等々と書いてあります。これについても「処理対象品目とします」。これは、新しいリサイクルセンターに関してということだと思っておりますけれども、既に令和4年4月に法改正が行われているんですが、現行はどうですか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 現在のリサイクルセンターでは、製品プラスチックをリサイクルする余力は全くございません。したがって、現在は、残渣という形でクリーンプラザふじみに運びまして、熱回収を行っているという状況でございます。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ありがとうございます。余力がないということでございますね。分かりました。理解をしたところでございます。

最後の質問をいいですか。すみません。視察・見学者数のところでお伺いしたいんです。

これは、右肩上がりで来場者数が増えているというのは大変喜ばしいことだと思ひまして、
こういうごみ行政への理解を得るためにも、それから日々の生活に一番直結している事業
でございますので、このように処理されているんだなということ、あと、皆さんのこうや
って働いていらっしゃるんだなということも、最終的には手で選別しているんだという
ところまで見ていただくと、非常に理解が進むので、重要なことだと思ひますので、これ
は右肩上がりで上がっているというのは大変喜ばしいことでございます。

個人見学のところが、これも数字は上がっているんですけども、6月のところがなぜ
か「41 (26)」という、この41人で26というのはどういう計算なんだろうと思ひまして、
ここをちょっと質問させていただきたいと思ひます。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 6月の個人見学「41 (26)」の意味でございますが、26人
につきましては、表の欄外2) のとおり、煙突登り見学会を開催いたしまして、その参
加者が26人ということでございます。したがって、それ以外、一般の方々がふらっと
こちらに見学に来た方が15人ということになります。

以上です。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ありがとうございます。煙突の見学、楽しそうなイベントをど
んどんやっていただいて、ありがとうございます。この書き方だと、26人の方はもう1回
来られた方かなとか、ちょっと分かりにくかったので、この表記の仕方を少し工夫してい
ただいたらなと思ひます。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

ほかにございませんか。よろしいですか。

以上で質疑を打ち切ります。

以上5件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思ひます。これにご異議ございませ
んか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第6 議案第9号 監査委員の選任について

○議長（大野祐司君） 日程第6、議案第9号、監査委員の選任についてを議題といた

します。

ここにおきまして、丸田議員におかれましてはご退席をお願いいたします。

(4番 丸田絵美君 退席)

○議長(大野祐司君) それでは、書記に議案を朗読させます。

上野事務局次長。

(事務局朗読)

○議長(大野祐司君) 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者(河村孝君) 議案第9号、監査委員の選任につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案につきましては、ふじみ衛生組合監査委員のうち、議会選出の監査委員が令和5年5月31日をもちまして任期満了となりましたので、後任の監査委員に丸田絵美さんを選任いたしたく、議会のご同意をお願いするところでございます。

丸田絵美さんの略歴につきましては、お手元に配付させていただいた略歴書のとおりでございます。

また、任期につきましては、令和5年8月21日から令和9年5月31日までとなります。

提案理由の説明は以上でございます。よろしくご審議の上、ご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長(大野祐司君) 提案理由の説明は終わりました。

お諮りいたします。本案は、提案理由も明らかですので、質疑、討論を省略して採決したいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大野祐司君) ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第9号、監査委員の選任については、原案に同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大野祐司君) ご異議なしと認めます。よって、本案は原案に同意することに決しました。

ここで、丸田議員復席まで暫時休憩といたします。

午前11時2分 休憩

午前11時2分 再開

○議長（大野祐司君） 会議を再開いたします。

それでは、ただいま監査委員に選任同意されました丸田議員にご挨拶をお願いいたします。

丸田議員。

○4番（丸田絵美君） 皆様、改めまして、こんにちは。ただいま議会の皆様にご賛同いただきまして、監査委員の大役を拝命いたしました調布市の丸田絵美でございます。一言ご挨拶をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

ふじみ衛生組合は、先ほど大野議長のお言葉の中にもありましたけれども、調布市と三鷹市両市の全てのごみを処理するという大きな役割を担い、安全かつ効率・効果的な運営が求められております。このような組合運営に当たり、監査委員の任を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

皆様のお力を借りし、ふじみ衛生組合の発展のために、大変微力ながらも尽力してまいるつもりでございます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

○議長（大野祐司君） ありがとうございました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて、令和5年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

午前11時4分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためにここに署名する。

令和5年8月21日

ふじみ衛生組合議会議長

大野 祐司

ふじみ衛生組合議員 4 番

丸田 絵美

ふじみ衛生組合議員 6 番

大倉 あき子

